フラッターLC使用方法

フラッターLCの調合

フラッターLC	水
20kg／1袋	5kg

フラッターLCの塗布面積

平均塗布厚	塗布面積／袋
2mm厚	約6m^2
3mm厚	約4m^2

フラッターLCの積算

算出方法

$W=2^{※1}\times0.8^{※2}\times S\times t$

フラッターLC必要量=W（kg）
施工面積=S（m^2）
塗布厚=t（mm）
※1：スラリー比重
※2：スラリー中の粉体割合
フラッターLCの施工では、現場の不陸の程度や、作業状況によってロスが生じますので、積算する場合は2～3%程度のロスを考慮してください。

フラッターLC　施工の流れ

①下地の点検、清掃

下地に浮き等が生じている部分は予め剥がす。
著しい凹み、段差は、フラッターQF20などで充填する。

②プライマーの塗布

フラッタープライマーLC原液をローラー刷毛などで下地に塗布する（コンクリート下地の平均塗布量：100g/m^2）
注）プライマーの塗布が不十分な場合、施工後に気泡が発生し、硬化後の表面に残りやすくなります。下地の吸水性が高い場合は、プライマーを水で2倍液にして重ね塗りするなど、状況に応じてご使用ください。

③流出防止の養生

配線口、壁際、出入口の取り合い部など、フラッターLCが流れては困る部分を予め養生する。

④混練

配合水を規定量（5ℓ/1袋）バケツに取り、フラッターLCを投入して約3分間均一になるまで攪拌する。攪拌後、30秒ほど静置し、エアーを脱泡する。
注）配合水が多い場合、表面強度が低下する（上限27%）。
注）脱泡が不備な場合、フラッターLC均し後に気泡が多く発生します。

⑤均し

混練後10～20分以内に均し用工具、左官ゴテなどで下地を均一に均す。

⑥養生

打設後軽歩行が可能になるまでは、通風による急激な乾燥や室温の低下を避け、養生する。

⑦下地の完成→床材施工

気泡跡などの不備がある場合は、フラッターQF20などで補修する。

フラッターLCはレベリング性を持つため、下地をある程度まで平滑にすることはできますが、補修厚さが2～3mmでは、大きなうねりを消すまでには至りません。大きなうねりを消すためには、補修厚さを大きくとる必要があります。また、補修厚さが0.5mm厚程度のしごき補修用途には、フラッターをご使用ください。

フラッターLC専用工具

フラッターLC専用工具は302ページ施工用具をご参照ください。